



令和6年3月1日
No.105

編集人
公益社団法人
兵庫県精神福祉家族会連合会
新 銀 輝 子

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階 TEL:078-891-3871 FAX:078-891-3872
メール:hyokaren@citrus.ocn.ne.jp オフィシャルサイト:<http://www.hyokaren.or.jp>

病院協会との意見交換会を通して考えること

(公社) 兵庫県精神福祉家族会連合会 副会長 藤田 行敏

前号(104号)の新銀会長報告にもあったように、斎藤知事との懇談後、兵庫県精神科病院協会との意見交換ができるよう県に配慮していただき、さる8月24日、ひょうかれんから会長含む6名の代表が兵庫県精神科病院協会事務局を訪問いたしました。兵精協からは深井会長、宮軒副会長、森井事務局長、オブザーバーとして県障害福祉課石川課長にも同席いただき、意見交換会を行いました。

これまで不定期には訪問したことがありましたが、改めて今回のような訪問をすることで意見交換し互いの距離を縮めていくことも必要だと思いました。実際それ以降、これらの病家族教室の講師選定や兵精協の部会への参加のお誘いなど何かとご尽力をいただいています。

病院としては、必要であれば入院は受けるが治療が終わればまた気持ちよく地域も受け入れてほしいこと、家族としては、入院したものの丁寧に対応してもらっているのかどうかの不安があることなど忌憚ない意見交換ができたと思います。

互いの立場を尊重しながら、患者にとってより良い医療は何か、地域で安心して暮らしていくためには何が必要かなど双方から意見を出し合いながら、より良い方向性が提示されることが必要だと思います。

これを機会にもっと交流を深め、互いの理解を深めていくことが必要だと感じた一日でした。今後も定期的に情報交換をしあう中でお互いの距離が縮まり、互いに協力関係が築ければと思います。兵精協会員の皆様にも、家族会としてよろしくおねがいいたします。

コラム

2023年 みんなねっと 埼玉大会に出席して

木の芽家族会 会長 涌波 和信

みんなねっと第15回全国大会は埼玉県大宮市で10月14日(土)、15日(日)二日間開催され、オンライン配信を取り入れて全国から南は沖縄県、北は北海道から660名が集まりました。基調講演の「ケアラー支援を進める社会に」は勉強になりました。有意義な二日間でした。

私は15日の分科会の第4分科会の発言者として出席しました。

第1分科会「ケアーの脱家族化を考える」第2分科会「精神保健福祉手帳2級所持者まで福祉医療の対象に」第3分科会は「自立の多様性を考える」です。

第4分科会は「これから家族会」で、満杯状態でした。切り口として妻がうつ病で6歳の子供を抱えながら「精神障害がある人の配偶者・パートナーの支援を考える会」を設立した前田直氏がお話され、当事者目線で「こどもぴあ」を設立し全国に輪を広げる坂本拓氏、埼玉県の小都市「久喜市すまいるサロン」の新設に奮闘された林あおい氏と続き、私は「木の芽家族会」の現状報告です。高齢化、後継者がなく崩壊寸前状態にある家族会から如何に脱却するかについて発表をしました。

「木の芽家族会」の発表は設立時の原点に戻り「精神疾患の早期発見、治療相談窓口に徹する家族会」として、支援者(医療、行政、社協、訪問看護、自立(生活)訓練、特定相談、居住支援、地域活動支援等)や専門家、議員と一緒にになって、当事者・ご家族を救う居場所を提供しています。今、抱えている問題を即、解決して誰もが安心して暮らすように導く家族会を目指しています。認知行動 SST と相談業務が決め手です。3組の結婚体験発表、落語、音楽療法、占い、食事療法、遺言なども取り入れました。

第15回全国精神保健福祉家族大会
みんなねっと 埼玉大会
家族まかせにしない社会に

精神障害者への誤解・偏見を超えて、家族まかせにせずに当事者・家族が当たり前に生きていく地域社会を目指し、具体的な実践を通して参加者と共に考える場としたい。

10月14日(土)～15日(日)
Rai Boc Hall(市民会館おおみや)
さいたま市大宮区大門町2-118大宮門街4-8F
(大宮駅東口下車・徒歩3分)

主催:(公社)全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと) 埼玉県精神障害者家族会連合会(のぞみ会)

精神障がい者の福祉施策充実に関する要望書の回答（抜粋）

※要望書の内容は、ひょうかれんNo.104に掲載しています。

1. 「ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議公共交通部会」(JRを含む県内公共交通事業者が参画)にて、ひょうかれんからの要望を交通事業者に伝え、働きかけます。
2. 精神障害者相談員法制化については、国に対して今後も引き続き提案を行っていきます。
3. 重度障害者医療費助成は必要性の高い方に支援を集中して行う考え方で、I 級支給は市町に共通の基盤的な制度であり、それ以上の上乗せは各市町にて行われています。
5. 自動車税、自動車取得税は、特に障害の程度が重度であって、日常生活において他人の援助が必須となり、外出においても自動車が不可欠となるI級に限定しているところであり、当面は現行制度の維持を考えています。
9. 特別支援学校や特別支援学級に在籍する子どもが増えている中、現在多様な学びの場（通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校など）において行われている特別支援教育を中止することは考えておりません。
14. 精神保健福祉法改正による精神科病院における虐待防止や通報等の規定は、令和6年4月1日施行となっており、改正法施行に向けて、県の体制構築や来年度予算要求の作業を行っているところです。訪問看護事業所等については、取組みを進めています。
16. 令和4年2月に策定した「兵庫県ケアラー・ヤングケアラー支援推進方策」に基づき、令和4年度から専門相談窓口の設置、当事者同士の交流活動に対して必要な経費を補助するピアサポート活動への支援を行っています。その他、ヤングケアラー等への支援のための関係機関職員への研修やシンポジウムの開催等、ケアラー・ヤングケアラーに対する認知度向上、支援者の資質向上のための取組みを行っています。今後も上記推進方策に則り、これらの取組を進展させ、県及び市町のケアラー等支援体制の強化を図ります。
18. 就労移行支援の標準支援期間を超えて更新を行う場合や、就労移行支援の複数回利用希望があった場合の取り扱いは、市町が個々の対象者の状況を勘案してサービスの利用を判断するよう市町と情報共有しながら進めてまいります。



おめでとうございます

—令和5年度兵庫県障害者福祉大会—

令和5年11月18日（土）加古川市アラベスクホールで兵家連会長表彰授賞式が行われました。

兵家連会長表彰受賞者の皆様（順不同・敬称略）

個人の部

氏名	住所	所属
豊永 恵	神戸市	木の芽家族会
豊永 智史	神戸市	木の芽家族会
河上 紀子	尼崎市	あまかれん
初田 育	加西市	加西家族会及び NPO 法人庵の上
島 サヨミ	芦屋市	芦屋家族会
五十嵐 恵子	神戸市	木の芽家族会
梶山 譲	神戸市	木の芽家族会
多田 トモ子	神戸市	木の芽家族会及び (社福) 木の芽福祉会

（団体の部 無し）



兵家連顧問本條義和様が厚生労働大臣より 令和5年度精神保健福祉事業功労賞を受賞されました！

令和5年10月27日（金）10時より大分県のJ:COMホール大分市民ホール大分にて兵家連顧問の本條義和様が令和5年度精神保健福祉事業功労者賞を厚生労働大臣より授与されました。

兵家連会長やみんなねっと理事長を長く務められ、姫路市でのしらさぎ家族会やNPOはりま福祉会、ひょうご障害者福祉協同組合での活躍が評価されたものと思います。そして何より兵庫県からの推薦を受けたことに感謝します。
精神障害に苦しむご家族のために活動する皆様への激励と受け取り、我々ひょうかれん一同更に努力していきたいと考えます。





「生徒の進路選択に寄り添った支援」

市川高等学校 特別支援教育コーディネーター

(公認心理士) 菅野 ひとみ

中播磨地区

市川高等学校は兵庫県神崎郡にある創立63周年を迎える私立全日制の共学普通科高校です。卒業生も2万人を超え多方面で活躍しています。

本校へは、友達と楽しい学校生活を送りたい・学び直したい・自分に合った進学や就職がしたい等、様々な思いを持った生徒たちが入学してきます。その中には、低学力・発達障害・不登校、虐待、いじめ経験者など多様な生徒がいます。生徒が安心して学校生活を送り、社会で自立する力をつけるために生徒・保護者の思いに寄り添い、時には専門機関や福祉・医療機関と連携して支援しています。

福祉サービスでは「放課後等デイサービス」と生徒の課題や気になる様子を早めに情報共有し連携支援することで自己肯定感もあがり成長が見られています。

医療機関受診の際には、生徒の困り感や学校の様子等を記載した手紙を主治医とやりとりして見守りを継続しているケースや受診の同行、また主治医・心理師と連携支援会議を開くこともあります。

発達特性のある生徒の進路保障については、「職業自立センターひめじ」で職業評価をうけ、その結果を参考に学校就職（学校指定校求人による就職）、福祉就労、就労移行支援事業所や自立訓練事業所での訓練など生徒・保護者の思いに寄り添い進路先を決定します。職業評価の結果を参考に進学先を決める事もあります。また、就職して困ったとき、離職したとき等には、私学で教員の異動がない利点を生かして、いつでも卒業生の相談を受け支援することができます。

本校の教員は生徒が社会で自立するために生徒・保護者の希望を大切にしつつ、生徒の無限大の可能性を応援したいと思います。本校のスクールモットーに『私が変われば世界が変わる』という言葉があります。生徒自身が変わりたいと思って勇気をもって一步を踏み出す瞬間に背中にそっと手を添えてあげられるような学校教職員でありたいと思っています。

また、中学校から引き継いだ支援が高校3年間で途切れてしまうことがないよう、教育・医療・福祉連携のネットワークをさらに密にし、多様な生徒に対応できる取り組みを今後も積み重ねていきたいと思っています。

ひょうかれんは、あなたの支援で運営されています！

ひょうかれん賛助会員募集

会員の皆さんには、会誌「ひょうかれん」を年3回お届けします。また、年1回誌面でご紹介させていただきます。

年会費：団体の場合 一口 10,000 円

個人の場合 一口 3,000 円

一口以上何口でも結構です。

振込先：郵便振替 011105-83568 兵家連





精神医療のアウトリーチ支援に期待する

(公社) 兵庫県精神福祉家族会連合会 副会長 藤田 行敏

阪神北地区

ACT(包括的地域生活支援)が始まってからかなりの年月が過ぎた。今では全国各地で活動されていると聞く。悲しいかな、隣県の京都や大阪、岡山にはあっても、兵庫県では ACT として活動されているところがない。ACT では重度の精神障害の方が、入院という選択ではなく、住み慣れた家で、精神科医や訪問看護師、あるいは精神保健福祉士等の自宅訪問を受け、寄り添い、傾聴してもらう。いきなり知らないところに連れて行かれて治療する(いわゆる非自発的入院)といつても、なかなかそれは抵抗のあるものだと思う。それより住み慣れた地域で誰かがきちんと自分の言うことを聞いてくれ、安心できることが必要だと思う。兵庫県でも実は ACT は名乗ってはいないが、訪問診療してくれる精神科クリニックがある。その一つは私の住む三田市にある『さくらこころのクリニック』である。開業時から往診をされていて、今までどれだけの方が助かったのだろう。これまで引きこもっていた方が、外に出れるようになったと聞くと、やはりアウトリーチの必要性を感じざるを得ない。そのほかにも阪神北圏域では、川西には『K こころのクリニック』、猪名川には『こひつじクリニック(メインは内科)』などがある。

必要なところに必要な支援が行き届くことを切に願っている。



みんなねっと賛助会員・購読者募集中

兵家連では家族会の全国組織である「みんなねっと」の活動を支え、更に発展を促す為に「月刊みんなねっと」購読者の拡大活動を行っています。

賛助会員（購読料金）

- ・個別賛助会員 年会費 3,600 円
- ・特別賛助会員 年会費 5,000 円～
2 冊以上の団体賛助会員もあります。



詳しくは、みんなねっと (TEL03-5941-6345・平日 10~16 時) まで。





精神障がい者福祉的支援等の相談会

<2023 年度あまかれん総会後のイベント新しい試み>

あまかれん 園田なごみ家族会 副会長 代田 ひろみ

△ 家族会活動の見える化

2023 年度あまかれん総会(出席者 90 名)の後は、広い会場に四つのブースを設けてそれぞれ専門のスタッフが関わり、初めて合同相談会のような形式で行った。

① 就労支援についての相談

(就労移行支援、就労継続支援 A 型、障がい者雇用、リワークなど。)

② 身近なところでの作業や交流できる場、医療スタッフなどがいるリハビリの場の紹介

(デイケアや B 型、地域活動、生活介護生活訓練など)

③ 訪問してくれるサービスや引きこもりなどの相談(アウトリーチについての相談)

訪問看護や訪問型生活訓練、往診、移動支援(自立生活援助)など。

④ 家族のなんでも相談(当事者に関わること、家族関係などについても)

△ 活動の結果(参加者の声から)

◎ 困り事をかかえたご家族を、市のスタッフコーナーにつなぎ、即、納得のアドバイスを受けることができた。◎ 4 ブースを自分でチョイスして短時間に数か所でそれぞれ相談できたのでモヤモヤが解決した。◎ 専門のスタッフとゆっくり個別相談ができた。◎ 他の相談者と困りごとを共有出来て心強かった。◎ 当事者の会も同席したことで息子以外の当事者の生の声を聞き、意見交換ができるとても参考になった。◎ 「罰金 5 万円を支払ってでも、障がい者を雇いたくない、という企業もあるのだ」との当事者の声に衝撃を受けた。◎ 当事者とあまかれんの活動、公的機関や地域支援事業などの関わりを一目で把握することが出来たようだ。(一般参加者)

△ 今後の課題と見通し

- ① 就労支援ブースに参加者が集中した。あらかじめ大まかな相談の希望を取って、一ブースに複数グループを設定したり、ブース内の話し合いが特定の相談者に偏らないような進め方を検討する必要がある。
- ② 当事者の生の声を、どう話し合いの場に生かして討議を進めるかを検討する。
- ③ この病気は分かりづらい。平素地域と関わりのある医療関係者やドクターのブースも設ける必要があったのではないか。今後、関係者と共に考慮したい。

投稿

神出病院現地見学で思うこと！！

神戸市民福祉調査委員会 特別委員 涌波 和信

令和2年3月4日、神戸市西区にある医療法人財団兵庫錦秀会「神出病院」の看護師ら6人が、入院患者に対して暴行やわいせつな行為をしていたとして逮捕されという報道は、記憶にあるかと思います。

令和5年8月21日・22日・23日において神戸市市民福祉調査委員会精神保健福祉専門分科会で健康局保健所保健課の企画のもと特別委員のメンバーが日を選んで現地見学しました。私は23日健康局の先導のもとに直接、新院長、事務長より事件後の病院内の施設及び各病棟内の改善状況や直接、入院患者、そこに働く看護師、スタッフと事件後の改善状況を聞きました。

事件直後当時の神戸市前精神保健福祉担当課長が即、病院を訪れ、その後健康局長を初めスタッフ及び委員会のメンバーはコロナ感染の中にもかかわらず聞き取り調査、第三委員会を設立しました。一方、病院は元理事長及び院長の退任のもとに、新体制を構築しました。

実際、病院を見学し施設、スタッフは改善されました。278名の入院患者の大半が65歳以上でどの病棟でも生きる明るさがなく誰も、どこも引き取りが無い墓場に見えました。

8月31日の精神保健福祉専門分科会の席で神出病院の新理事長、院長、事務長、法人本部長等から改善状況の説明を受けました。

私は専門分科会の席で、精神病院は治療に徹するべきで、本人の意思を無視した長期強制入院、病院への強制移送、身体拘束、薬漬けで患者への虐待・暴行事件をおこす病院は即、潰すべきと訴え続けています。

国連勧告で日本の33万病床は障害者権利条約によると逸脱していると指摘されました。これは行政、我々市民の黙認が生んだ怠慢です。

令和4年12月10日精神保健福祉法が改正され、精神障害の程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことが出来るような地域包括ケアシステム構築が目指されます。家族会も先導すべきです。

精神科救急窓口のご案内

精神科救急情報センター電話番号：078-367-7210

平日：午後 5 時～翌日午前 9 時

土・休日：午前 9 時～翌日午前 9 時

(平日昼間は健康福祉事務所へ)

※ご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に告げてください。

家族の手記



地域共生社会の実現に思う

のぎく家族会 小林 勇

私が所属する「のぎく家族会」は平成13年に現在の美方郡新温泉町で発足後、のぎく作業所を開設し、現在の法人が運営する「地域活動支援センターのぎく」と名称を変更しました。

本会は同センターの運営から離れ、定例会、交流会などに専念する他、但馬地区の精神保健福祉研修会及びこころの病家族教室を地区内の輪番で担当して参りましたが、会員の減少と高齢化及び他の家族会が休会等厳しい現状が続いています。

一方、家族は、永年本人の回復を願い終わりの見えない苦悩を抱え支えて来ましたが、職場や日常においてそれを表に出すことはなく、感情の行き場がないまま家族内の悪循環に、また社会からの孤立に他とつながりが見いだせない状況が多いと思います。その中にあって、昨年12月に精神保健福祉法の改正があり、精神保健に関する相談支援は、精神障害の方に限らず精神保健に課題を抱える方を対象とすることになり「生活上の困りごと・生きづらさを抱えている方を含めた全住民」の地域共生社会など支援体制作につながっています。

さて、関係法令が改正され、それに魂を入れるために大切なことは何でしょう。

第一は当事者や家族の語りえない苦悩を抱える人のもつ「自尊心を理解すること」ではないかと考えます。その為には…

- ・ 「つながり合う」、「支援」及び「排除されてきた障害者を含めた当たり前」とは何か、言葉にならない思いをどうくみ取るのか。
- ・ 誰もが持つ「弱さ」や「独自の価値観」を持ち寄り、対話が生まれ人の温かさを感じその中で信頼・助け合い・新たな知恵が生まれるのではないか。
- ・ 生きづらさ解消のための
向き合い方やかかわり方は
「工夫をして解決困難な苦悩をともに
感じたり」、「何もできなくてもそばに
居続け見守る」及び「思いを理解する
ための何気ない日常の対話」の中から、
支え合いが生まれるのではないか。

以上、地域共生社会の実現に少しでも
つながれば有難く思います。



当事者の声

楽しい生活

峰の会 利用者 植田 裕樹

峰の会に行っている、植田裕樹です。

今年の4月からアパートで、ひとりで生活していますが、洗濯機に洗剤を入れるのを忘れて1からスタートすることが、情けないことに10回ぐらいあり、バタバタです。

料理は無料ヘルパーさんに、週1回作ってもらって…だったはずでしたが、ヘルパーさんの指導を受けて、自分で料理を作っています。

でも、自分の分を作るだけでも大変なのに、5人家族で5人分作って働いている人間は、スゲーよなと毎日、感心しています。

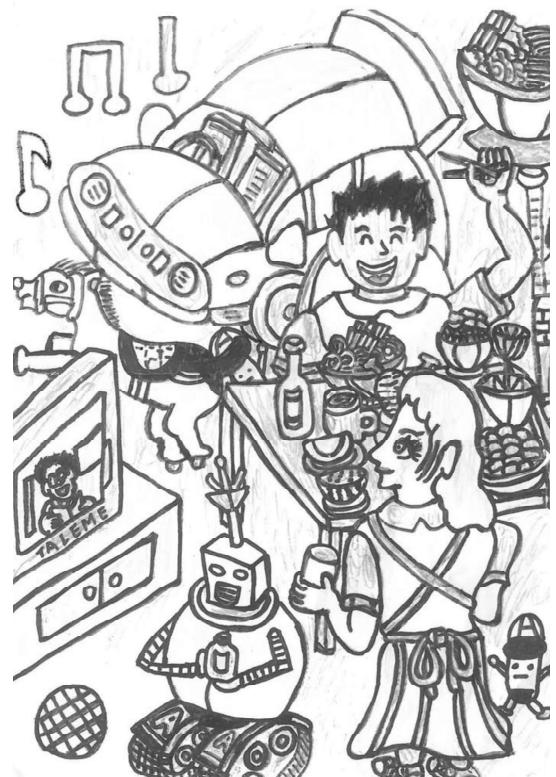
実家の母親には、恋愛禁止令とか、友達でも家の中に入れたらあかんとか、言われているので、アパートに住めなくなったら困るので、守っています。

絵を日曜日に描いて、土曜日とか休日はゴロゴロ休んでいますが、洗濯機は毎日動かしています。

キングダムという人気漫画が大好きで、全集集めて読むと、元気になります。

1人でアパートに居ると、あまり気を使わなくて良いので、気楽ですが、峰の会に行くと友達と話せるし、内職とトイレ掃除で金を頂けるので助かります。毎日のように朝はバタバタしていますが、今回、書く機会をいただき、ありがとうございました。

絵は、「未来の都市」と「朝飯つくり」いうタイトルです。



<未来の都市>



<朝飯つくり>



こんにちは、ひょうかれん 電話相談部会です

電話相談部会長 河上 紀子

ひょうかれんの電話相談は、22名の相談員のご協力で成り立っています。月に1回当番に入っていただぐのですが、相談員も家族を抱える身です。どうしても来れないときがあり、2回入ってくださる方もあります。そしてもちろん1回1人で入ります。みなさんと顔を合わせるのは年1回の研修会だけ、結構孤独なのです。

私たち家族相談員は何でも知っているわけではなく、個人の体験と家族会などで得た家族の体験や知識のみです。初めて電話相談員をされる方から、電話相談で対応に困ったとき、みなさんに尋ねたいのでノートを作成してほしいとの提案があり、早速作りました。何でも書いていいノートです。

このノートがとてもおもしろい。お一人の書かれた困りごとに、複数の方がアドバイスを書かれます。自分とは違う視点から意見をもらうことは貴重です。また他にも、自分の活動のことや面白かった本のこと、研修で得た相談員に役に立ちそうな知識、故藤田修美先生のことなどが書かれています。読んでいると一人で電話相談を受けている孤独感が少し癒されます。

また、このノートを読んで、毎月1回来てくださる精神保健福祉士さんが、自由な集まり「語りのカフェ」を提案してくださいました。

1回目の集まりが7月22日、2回目が9月30日になりました。1回目13名 2回目は15名の方が参加。2回目はみんなの要望で故藤田修美先生の講演会のテープを聞きました。上手に笑わせてもらひながら、しみじみわかることがありました。そのあとは2グループに分かれ、困った対応の相談会。発言が途切れることはありません。ハッと気づけば4時前でした。みんながバラバラではなく一つのホットなチームになっていました。私は11月25日に尼崎で行われる阪神地区精神保健福祉研修会に参加して研修を受けました。

ご家族のお困りごとを、同じ経験を持つ家族相談員がお聞きします。また、毎月第4木曜日はPSW(精神保健福祉士)が担当です。お一人で悩まず、是非お電話ください。

お気軽にご相談ください

ひょうかれん電話相談

病気のことや経済的なこと、暮らしの悩み、福祉制度（手帳・年金・他）利用の手続きなどについて、精神障害者相談員として県知事委嘱を受けた家族相談員や、精神保健福祉士などがご相談をお聞きします。（匿名可）ぜひご利用ください。

TEL : 078-891-3886^{ハロー}

平日 10 時～12 時、13 時～15 時



兵家連活動日誌

役員の動き

(2023年9月~12月)

1	災害時要援護者ピアリング（県福祉センター）<県防災支援課・人と防災未来センター・清瀬主幹・新銀>
3	立憲民主党政策要望・意見交換会<兵庫県民会館>（藤田） R5ひろばICT（明石地区）<ふれあい作業所>（南部）
4	日本共産党県会議員団県政懇談会<県民会館>（涌波） R5理解事業「親亡き後」動画制作打合せ<事務局>（藤田）
6	会誌#105編集委員会・会誌#104校正会議<県福祉センター>（※1） R5年度第3回理事会<県福祉センター>（理事・監事・顧問）
8	R5ひろばICT（神戸・阪神地区）<事務局>（南部）
10	R5ひろばICT（姫路・中播地区）<峰の会作業所>（大塚）
11	兵庫県議会議員精神保健研究会の勉強会<県庁3号館>（南部・涌波・佐伯）
12	R5年度第5回家族による家族学習会<三田市フローラタウン市民センター>（にじの会） R5年度第1回兵庫県障害福祉審議会<ラッセホール>（藤田）
13	運営監視会議体「市川町社協」現地調査<市川町社会福祉協議会>（三木） 運営監視会議体「加西市社協」現地調査<加西市社会福祉協議会>（三木） 中野まさひろを激励する会<あましんアルカイックホール>（涌波）
14	赤羽かずよしを激励する会<ホテルオークラ神戸>（新銀） 第65回きょうだい会<県福祉センター>（福田）
16	ジャパンファミリーワークプロジェクトメリデン版訪問家族支援2023年度第1回基礎研修（1日目）<web>（久下） R5ひろばICT（三木地区）<アイグルー>（新銀）
17	ジャパンファミリーワークプロジェクトメリデン版訪問家族支援2023年度第1回基礎研修（2日目）<web>（久下） R5ひろばICT（明石地区）<ふれあい作業所>（南部）
18	ジャパンファミリーワークプロジェクトメリデン版訪問家族支援2023年度第1回基礎研修（3日目）<web>（久下） R5年度精神障害者地域移行促進人材養成研修（基礎）2日目<兵庫県こころのケアセンター>（藤田）
19	デジタルR5スマホ・PC教室<大庄南生涯学習センター>（尼崎西家族会） R5年度精神障害者地域移行促進人材養成研修（専門）1日目<兵庫県こころのケアセンター>（藤田）
20	近畿ブロック代表者会議<ZOOM>（正副会長、近畿府県連代表）
21	但馬地区精神保健福祉研修会 実行委員会<豊岡職員福利センター>（のぎく家族会）
23	ジャパンファミリーワークプロジェクトメリデン版訪問家族支援2023年度第1回基礎研修（4日目）<web>（久下）
24	ジャパンファミリーワークプロジェクトメリデン版訪問家族支援2023年度第1回基礎研修（5日目）<web>（久下） R5ひろばICT（淡路地区）<いちばん星>（みはら家族会）
27	障害者スポーツ振興のあり方検討分科会設置打合せ<事務局>（新銀）
30	第2回電話相談員「語りのカフェ」<事務局>（PSW、新銀、電話相談員） デジタルR5スマホ・PC教室<尼崎市内>（武庫ひまわり家族会）
1	R5ひろばICT（明石地区）<ふれあい作業所>（南部）
4	R5年度第4回運営委員会<県福祉センター>（※2） みんなねっと小幡事務局長県連支援訪問<事務局>（※2）
7	デジタルR5スマホ・PC教室<ゆくる>（中央よつば家族会）
8	R5ひろばICT（姫路・中播地区）<峰の会作業所>（大塚）
13	特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」兵庫県選手団結団式<県民会館>（新銀、新銀茂） R5ひろばICT（神戸・阪神地区）<事務局>（南部）
14	みんなねっと全国大会「家族まかせにしない社会に」（全体会）<RaiBoHall市民会館おおみや・web>（新銀・南部）
15	みんなねっと全国大会「家族まかせにしない社会に」（4分科会）<RaiBoHall市民会館おおみや・web>（新銀・南部）

10月後半	15 みんなねっと全国大会「家族まかせにしない社会に」（4分科会）<RaiBoHall市民会館おおみや・web>（新銀・南部） 18 R5精神障害者地域移行促進人材養成研修（専門）2日目<兵庫県こころのケアセンター>（藤田） 21 デジタルR5スマホ・PC教室<ポイントアート青山>（ほのぼの会） R5ひろばICT（三木地区）<アイグルー>（新銀） 22 R5ひろばICT（淡路地区）<いちばん星>（みはら家族会） 25 デジタルR5スマホ・PC教室<地域活動支援センターのぎく>（のぎく家族会） 27 第70回精神保健福祉全国大会令和5年度精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰<J:COMホルトホール大分>（本條） R5年度第1回県精神障害者相談員スキルアップ研修<丹波の森公園>（新銀） 28 デジタルR5スマホ・PC教室<尼崎市内>（武庫ひまわり家族会） 5 R5ひろばICT（明石地区）<ふれあい作業所>（南部） 6 第1回ユニバーサルスポーツ分科会<兵庫県民会館>（新銀） めばるの会定例会<NPO法人各駅停車>（南部） 中・西播磨地区精神保健福祉研修会<姫路市総合福祉会館>（ひめかれん） 8 第2回ユニバーサルスポーツ分科会<ブルボンビーンズドーム>（新銀） 9 令和5年度第2回運営監視会議体<県福祉社会館>（三木） 10 R5ひろばICT（神戸・阪神地区）<事務局>（南部） 11 第2回重度障害者医療費助成制度についての講演会<神戸市立総合福祉センター>（南部） 12 R5ひろばICT（姫路・中播磨地区）<峰の会作業所>（大塚） 16 第66回きょうだい会<県福祉センター>（福田） 18 令和5年度障害者福祉大会（芸文祭）加古川ウエルネスパークアラベスクホール（新銀） R5ひろばICT（三木地区）<アイグルー>（新銀） 19 みんなねっと近畿ブロック家族の集い<滋賀県>（新銀） R5ひろばICT（明石地区）<ふれあい作業所>（南部） 22 R5年度第4回理事会<ZOOM>（理事・監事・顧問） 丹波・北播磨地区精神保健福祉研修会 実行委員会<地域活動支援センターのみよんち>（あんのん会） 阪神地区精神保健福祉研修会<尼崎市立小田南生涯学習プラザ>（あまかれん） デジタルR5スマホ・PC教室<ポイントアート青山>（ほのぼの会） 26 西・中播磨地区こころの病家族教室<福崎町文化センター>（峰の会） R5ひろばICT（淡路地区）<いちばん星>（みはら家族会） 3 R5ひろばICT（明石地区）<ふれあい作業所>（南部） 6 R5年度第5回運営委員会<県福祉センター>（※2） 8 R5ひろばICT（神戸・阪神地区）<事務局>（南部） 10 R5ひろばICT（姫路・中播磨地区）<峰の会作業所>（大塚） 12 デジタルR5スマホ・PC教室<立花南生涯学習センター>（尼崎北家族会） 13 R5第2回県精神障害者相談員スキルアップ研修<高砂市勤労者総合福祉センターふれあいの郷生石研修センター>（新銀） 15 県社協総合企画部会（第219回評議員会）<県福祉センター>（新銀） デジタルR5スマホ・PC教室<ポイントアート青山>（ほのぼの会） 16 R5ひろばICT（姫路・中播磨地区）<峰の会作業所>（大塚） 17 R5ひろばICT（明石地区）<ふれあい作業所>（南部） 会誌#105校正会議<ZOOM>（※1） 20 但馬地区精神保健福祉研修会<香美町村岡老人福祉センター>（のぎく家族会） 24 R5ひろばICT（淡路地区）<いちばん星>（みはら家族会）
-------	---

*1: 新銀、南部、藤田、涌波、大塚、三木、代田
*2: 新銀、南部、藤田、涌波、大倉、佐伯、新銀茂

編集後記

編集委員：新銀、涌波、南部、藤田、大塚、三木、代田

今日、105号の原稿チェック会議と次号106号の編集会議とをテキパキ時間内でやり終えた。すごい！すると、副会長のNさん曰く「記事を取り上げる際の、我々の雑談こそが大事なんです。今回はそれができなかつた。」テキパキではなく、記事に関わる諸々の情勢を論じ合う時間の余裕こそが必要なのだと。（代田）

KSKP

一九四八年八月二〇日第三種郵便承認 每月（一・二・三・四・五・六の日）発行 定価..五十円